絵本 ～心のキャッチボール～

7 2012

the 0123 アートチャイルドケア

◎愛　情：読み手と絆を深める
◎情　操：絵本が好きになり、豊かな人間性を育む
◎知　育：「想像力」「集中力」が育ち、読み書きへの関心が高まる

絵本を見ることで想像し、普段経験していないことを疑似体験しているお子様。その中で、嬉しい・楽しい・ワクワク感・ドキドキ感・つらい・悲しい・苦しい・面白い等の様々な感情を味わっています。絵本を通して心を揺さぶる経験を沢山することで、お子様の「こころ」が育っていき、それが「生きる力」になっていきます。絵本を読み終えた後に、絵本の感想を大人からあえて聞くことはありません。話の世界に浸る余韻をお子様と一緒にぜひ、味わってみてはいかがでしょう

年齢別の目標

乳児（0～2歳）

1期：絵と読み手の語り掛けに興味を覚え、絵本に関心を持ちます。
2期：絵本を楽しむ好奇心が芽生えます。
3期：絵と現実が体験を通して、少しずつ一致する。
4期：イメージが膨らみ、次のページに現れることを期待して見るようになる。

幼児（3～6歳）

前期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を認識する
後期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を想像する

今月の推奨絵本

ちょっとだけ

作 瀧村有子　絵 鈴木永子　福音館書店

3歳から

赤ちゃんが生まれて、お母さんは忙しいので、なっちゃんはいろいろなことを自分ひとりでやってみます。作者は3人のこどものお母さん。見た後で、大人も優しい気持ちになれる絵本です。

ごぶごぶごぼごぼ

作・絵　駒形 克己　福音館書店

0歳から

「ぷーん」「ぷくぷくぷく」「ぷぷぷ」などの音(言葉)の響きやリズムの楽しさが、色あざやかなオレンジ、赤、青などの丸の動きで描かれています。小さいお子様にも人気の絵本です。

各月齢の絵本選びと読み方のコツ

★3歳児の場合

《絵本の選び方》

言葉を、ものを考える道具として使い始め、イメージする力も育ち、自分の持つイメージを絵本に重ねて楽しむ姿が見られるようになります。実際の生活や遊びを豊かに膨らませてくれる絵本を選びましょう。イメージする力が育つことによって、現実から離れた知らない世界や体験したことのないことへの興味・関心が膨らんでくるので、ファンタジーや冒険もの、昔話なども選ぶのもいいでしょう。

《読み方のコツ》

絵本の中の出来事を自分の経験と重ね、共感したり反発したりしながら楽しむようになるので、読み聞かせの後で、お子様からのメッセージの発信がある場合はそれを受け止め、心の中を言語化することの楽しさを積み重ねていけるようにしましょう。メッセージの発信がない場合にもお子様の中には、感じているものがあるので、無理に聞き出す必要はありませんね。

the 0123 アートチャイルドケア

本　　社：大阪府大東市泉町 2-14-11
東京本社：東京都品川区東品川 1-3-10-3F

the 0123 ART GROUP

※掲載の情報は2012年7月現在のものです。 ©July 2012 Art Group